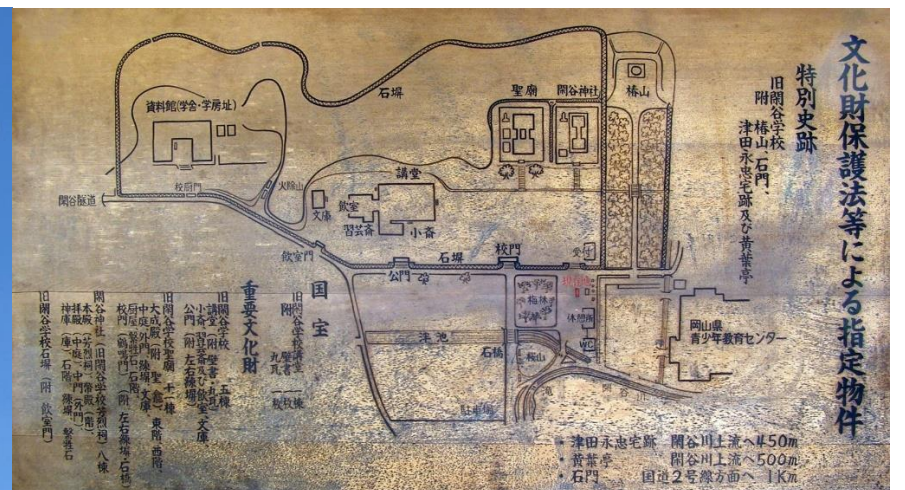




先日TVの旅番組の冒頭で備前閑谷学校の映像が一瞬出たのでその紹介があると期待して視ましたが、岡山内をテーマにしてはいたものの閑谷学校は出てきませんでした。続きの次回放送で出るのかと思った期待も外されてしまいました。そこで今回は、国宝や重要文化財がたくさんある旧閑谷学校の以前に撮った写真を探し出してみました。

閑谷学校は、日本で初めての庶民の為の学校として1670年に岡山藩主池田光政によって建設着手され、1674年までに学房・聖廟や講堂などが完成、その後1701年まで整備が続けられたとのことです。明治維新後1870年に閑谷学校は閉鎖され、学房・習字所や教員宿舎が撤去されていますが、その後旧制中学校から高等学校として1964年まで使用され、さらに岡山県青少年教育センターを経て、1995年からは明治時代築の旧校舎が閑谷学校資料館となっています。明治から昭和へ、様々な分野のリーダーを輩出してきたとのことです。1950年に講堂、聖廟、神社等25ものが重要文化財に、1953年に講堂が国宝に、1954年に旧閑谷学校が特別史跡に指定されています。上の写真は、重要文化財の校門（鶴鳴門）です。重要文化財の石堀にある5門のひとつで、門の奥正面には、同様に重要文化財の聖廟（孔子廟または西御堂）があります。



国宝の講堂は、当初の茅葺き屋根から閑谷焼（南 2.5km 程に窯跡あり）の瓦葺き入母屋造りに改修されていて、ケヤキ丸柱 10 本で囲まれた内室に、4 方周囲に庇の間が続き、障子と板戸が囲み、さらにその外側に広縁が設けられています。



講堂（南面）

広縁

講堂（東面）



講堂

聖廟と楷の木

閑谷神社

重要文化財の閑谷神社（芳烈祠または東御堂といわれた）は、岡山藩主池田光政を祀るために 1686 年に建てられたもので、本堂内に光政の金銅製座像（1704 年鑄造）が安置されていて、明治になって光政の祖父輝政・父利隆を合祀して閑谷神社と改名されたとのこと。池田家の家紋（揚羽蝶）入の軒瓦も使用されています。聖廟（孔子廟または西御堂）は孔子を祀っており、内部の厨子の中に金銅製の孔子像（1701 年鑄造）が安置されているとのこと。聖廟の手前両脇に「学問の木」といわれる楷の木（和名:孔子木 牧野富太郎博士命名）があり、周辺のモミジと共に紅葉の名所になっています。



聖廟と楷の木（春）

紅葉が始まった楷の木

モミジも（校厨門）

講堂の脇にある重要文化財の小斎は、1677 年建造のこけら板葺き入母屋造りです。藩主臨学時の御成の間で、数寄屋造りで浴室やトイレも付いているとのこと。重要文化財の公門（御成門）は藩主の通用門で、1701 年建造の薬医門形式。重要文化財の習芸斎は、1701 年建造の学習に使われた部屋で、天井が張られてなく小屋組みが見られます。床は畳敷だったようです。重要文化財の飲室は、1701 年建造の生徒の休憩室で、炉や流しが設けられているとのこと。重要文化財の文庫は図書を取めた収蔵庫で、土蔵造りで屋根は置屋根、前室は 2 重の土の戸という防火・防犯を意識した設計で、希望者に図書が貸与されていたそうです。文庫の裏にある火除山は、さらに西側にある学舎や学房（寄宿舎）の出火から文庫や講堂を守る為に造られた人工の山です。これほどの学校が建造されたのは、江戸時代の社会が安定充実していた証と考えられます。学舎・学房跡は、明治以降、閑谷精舎・閑谷覺・閑谷中学・高等学校・青少年センターとして利用されたとのこと。



小斎

公門

習芸斎の小屋組み

飲室

習芸斎



文庫



火除山



学舎・学房跡に、明治に建てられた校舎



昭和5年の閑谷中学校



池田家の揚羽蝶の家紋

周囲の厚みのある独特の石堀（一周 765m）は、1701 年完成の切込みはぎ式（形が異なる石を組合せ）の石築きで、内部には割栗石を詰め雑草木も生えないように保たれています。クスコヤマチュピチュ等インカの石積みを思い出させるような石と石の間に隙間が無いところもありました。現在の校舎は 1905 年に私立中学閑谷巒として建てられたものです。



小斎 公門



公門と校門



東端の見学受付の門

南に少し離れた 1km 程のところに、擬宝珠型の石柱が 2 本並んで建っています。これは 1697 年に建てられた閑谷学校の校門（特別史跡）で、江戸時代はここから北が閑谷学校の校地だったそうです。元々は高さ 3.8m あったものが、数回にわたる埋立てによって今は 3 分の 2 以上が地中に埋まっているようです。周辺では、5km 程北西の約 100 種類もの藤の公園が隣接する和氣神社や、もっと西方の備中ですが、造山古墳・水攻めの備中高松城址・備中国分寺・回廊の吉備津神社・吉備津彦神社等も、立寄りお勧めの地です。



擬宝珠型石柱校門（3分の2以上が埋っている）

(写真撮影 2009.04.18、2012.11.05)

< Google マップ参照 >

URL は、下の「PDF はこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。

旧閑谷学校 <https://www.google.com/maps/@34.7967944,134.2196468,17.52z>

旧閑谷学校石門 <https://www.google.com/maps/@34.7873792,134.2186534,19.27z>

和氣神社 <https://www.google.com/maps/@34.820579,134.1749042,18z>

造山古墳 <https://www.google.com/maps/@34.6741862,133.8033271,17z>

備中高松城址 <https://www.google.com/maps/@34.6929868,133.8217499,18.5z>

備中国分寺 <https://www.google.com/maps/@34.6664709,133.7820969,17z>

吉備津神社 <https://www.google.com/maps/@34.6702708,133.849768,17.25z>

吉備津彦神社 <https://www.google.com/maps/@34.6771148,133.8637944,17z>